

「飲む酸素」で安心してワクチン接種を

WOX[®]（酸素補給水）が今年2月にアメリカで物質特許を取得したことを春号でご紹介しましたが、その後、3月には中国でも「酸素包接水とおよびこれを含む酸素溶解液」として発明特許を取得しました。日本だけでなく世界で酸素補給水が認められてきたのです。

「酸素包接水」とは本来水に溶けにくい「酸素」を特殊な技術で水に溶かしたものです。つまりWOX[®]は「飲む酸素」として、これまで呼吸だけで酸素を取り込んできた私たちが、水溶液を飲むことで酸素を体に取り込めるようになったという世界初の画期的な発明なのです。

これまで飲むことで酸素を取り込めるとは考えられませんでした。最近この「飲む酸素」の後押しをするような話題がテレビなどのマスメディアで注目されました。

東京医科歯科大学の研究チームが腸への酸素供給により、重篤な呼吸不全を改善できる腸換気法を開発したというのです。新型コロナウイルス感染症に関連する重症呼吸器合併症では低酸素血しゅうを伴う呼吸不全に対し、生命維持のために人工呼吸器や人工肺（ECMO）が使用されていることはご存じの方も多いことでしょう。

しかし、これらの医療機器は高度な専門技術が必要であり、さらに費用も多くかかります。その上、

患者への負担も問題となっています。今回発表された腸から酸素吸収ができる腸換気法の成果は呼吸不全に対する新しい呼吸管理法の開発につながるかと期待されています。つまり、研究者の間では酸素は呼吸からしか入らないとされてきたものが、腸管からも入るということが証明されたのです。

アメリカと中国で特許取得した酸素補給水WOX[®]は腸管（小腸、大腸）だけではなく、口の中からも食道や胃からも酸素が取れる「飲む酸素」製品です。

東京医科歯科大学の研究に対し、WOX[®]（酸素補給水）の発明者松本高明氏は、

「今は腸管から入ると話題になっていますが、どんどん研究を進めてもらいたいですね。腸管だけからとなると浣腸か何かで入れなければならぬので大変です。酸素補給水WOX[®]は、飲んで酸素補給ができること証明されているので、もし、浣腸が必要なのであれば、WOX[®]をうまく活用したらいと思っています」

と述べています。今後酸素補給水WOX[®]が東京医科歯科大学の研究に何らかの影響をもたらすことを期待したいと思います。

新型コロナウイルスの重症者はまだまだ増えています。コロナで肺炎が発症し、肺からは酸素が体に取り込み難くなり、身体全体が酸素不足にな

り、エネルギー不足となって重症化するのです。

この様な状態になると酸素ポンベはあまり役に立たないため、様々な医療機器を使うことが必要になり、多くの人手も必要になってきます。

酸素は普通呼吸によって肺から体に取り込まれますが、酸素を取り込む機能は20歳前後をピークとして年々低下してゆきます。60歳を過ぎると呼吸による酸素摂取量は若い時の2分の1程度になります。年をとって健康な人でも息切れや動悸、息苦しさを感じるものが多くなってきました。年と共に肺を動かす筋肉や心臓による血液循環が衰え、体内に十分に酸素が行き渡らないからです。

普段から姿勢を良くし、十分に酸素を吸収できる呼吸法を鍛錬し、有酸素運動をして、体内酸素量を減らさないようにしましょう。

なぜなら酸素は身体の全ての細胞を動かすエネルギーを生成するのに必要不可欠な物質だからです。年と共に物忘れが増えたり、視力が低下したり、耳が遠くなったりするのも酸素が十分に行き届かず、エネルギーの生成が不足するからです。慢性的な酸素不足が老化現象や病気をもたらすと言われています。

かの野口英世博士は「すべての病気は酸素欠乏症である」と言っています。ワクチン接種が各地で行われています。読者の

皆さんはもう2回接種が終わり了吗？そんな中、ワクチンの副作用が問題となっています。

特に高齢者は心配な人が多いようです。なぜ高齢者にワクチンの副反応が出やすいのでしょうか。それもエネルギー不足から来ています。エネルギーがたっぷりあると抗体も上がりやすくなるだけではなく、体全体の免疫力が上がります。

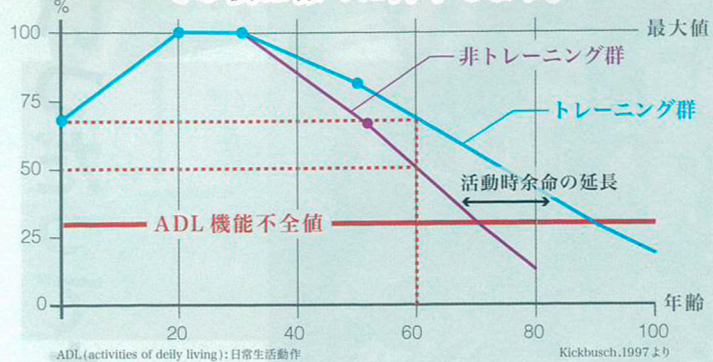
副反応が怖くて打ちたくても打てないという人の話を聞きますが、ワクチンは擬似感染です。エネルギー不足により、体内でその防御力が一進一退の戦闘状態では熱が上がる可能性があります。つまり、エネルギーが増加すると、抗体が上がります。副反応が起きにくくなると言えます。

加齢と共に減る酸素吸入量！原因は筋肉の衰え

60歳で酸素摂取能力は半減します。

20代でピークに達し

その後は徐々に低下します。



酸素不足で副反応を出さないために、しっかりとWOX[®]で酸素を補給してワクチン接種に臨まれることをお勧めします。ワクチンの副反応だけでなく、エネルギーがあれば免疫力が強くなり、基礎代謝が高まるので、健康になるのは当然なのです。

新型コロナウイルスの感染治療には酸素が使われています。この酸素を十分に取れば、十分なエネルギーが産生されるので、ウイルスが入りにくくなります。入ってしまった感染したとしても肺炎による酸素不足を補えれば重篤な症状にはなりにくいということから酸素ポンベが使われています。然し、肺炎の状態では肺から酸素を補給するのは難しいのです。

酸素の重要性は今世界的に話題のアニメ映画「鬼滅の刃」にも出てきます。「全集中の呼吸」というのがそれで、身体超活性の呼吸法です。肺を大きくして大量の空気（酸素）を吸い込むことが必須と言われており、その効果は、身体中の筋肉を一気に活性化させて、身体能力を飛躍的に向上させるのだそうです。

酸素でエネルギーを作って、エネルギーを一気に爆発させて刃に乗せるから鬼が切れると、「鬼滅の刃」では解説しています。小学生でも知っている酸素の身体に対する影響力。その酸素を肺から入るだけでなく飲んで体内から吸収できるのがWOX[®]です。

酸素補給水WOX[®]は多くのスポーツ選手に人気があるのは「鬼滅の刃」と同じです。パフォーマンスを向上させ、集中力をあげると喜ばれて

います。通常100%のエネルギーを120%にできた嬉しいですね。

新型コロナウイルスのワクチンを打つにも健康であることが大切です。何より普段の生活が健康でありたいものです。そのためには酸素補給水WOX[®]を高年齢の方々にも活用していただきたいと思えます。

最後に酸素補給水WOX[®]の製造販売元でもあるメデイサイエンス・エスポアでは今新型コロナウイルスが蔓延で大変な状況となっているインドに酸素ポンベではなく、WOX[®]を送る計画をしています。

「今、WOX[®]を送る方法を模索しています。社会貢献の一環として、コロナ感染で大変困っているインドの方々には『酸素補給製品の寄付』という形で喜んで頂ければ嬉しいです」と松本高明氏。日本で、世界で、酸素補給水WOX[®]の重要性が更に高まっているように感じます。

「エール」編集長・植松紀子

